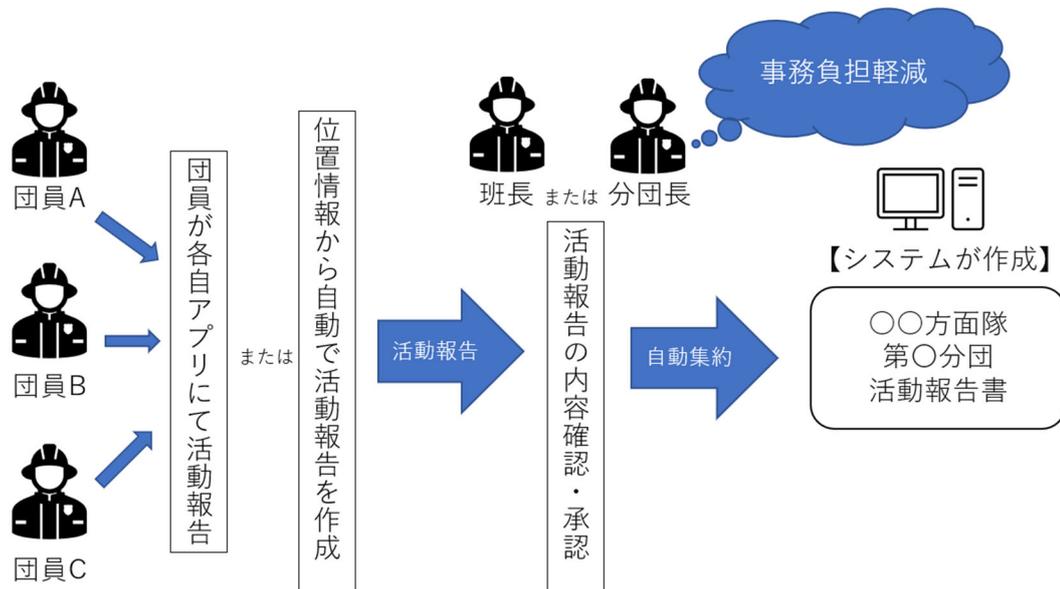


「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

NO.	49	地方公共 団体名	静岡県袋井市		袋井市消防団
担当課	危機管理部 危機管理課		連絡先	Tel 0538-86-5577 E-mail bousai@city.fukuroi.shizuoka.jp	
事業名	袋井市消防団充実強化検討会				
事業詳細	<p>○ 事業の目的・必要性</p> <p>総務省消防庁の最終報告書に基づき、災害出勤報酬・訓練等報酬の創設をはじめとした団員の処遇のあり方や団を支える市と地域の様々な取り組み及び団活動等について、地域防災力の中核を担う袋井市消防団が、将来に渡って活動を円滑に行えるよう全市的にサポートするため、消防団活動に資する様々な事項を充実・強化を目的とする</p> <p>○ 事業内容</p> <p>1 消防団動態管理システムの導入による消防団員の負担軽減</p> <p>災害発生時における迅速な情報共有と、消防団員の事務負担の軽減を目的として、新たに株式会社タヌキテックが開発・運営する消防団動態管理システム「Fire Chief」を導入した。</p> <p>本システムの導入により、災害発生時には、災害点への経路の確認や現場状況の共有、水利の情報、GPS等による位置情報の共有化が図られ、現場での指示や判断がこれまで以上に正確かつ迅速に行われ、市民の安心安全に繋がるだけでなく、予定の調整や活動報告がシステムで一元化されることで、それらを自動で集計し、各種手続きを簡略化することができ、団員の負担軽減が見込まれる。</p>				

(1) システム導入後のイメージ図



(2) アプリのイメージ図と操作研修会の様子



2 消防団によるラジオ放送での消防団 PR 活動の実施

消防団のイメージアップを目的として、県内を拠点とするラジオ放送局 2 社の人気番組に現役団員が生出演し、それぞれ、4 回の生放送出演と番組中コマーシャルを 1 回、延べ 12 人が計 10 回にわたり、消防団の活動や、やりがいなどについて、番組パーソナリティと対話形式で県内全域に向け情報発信を行った。

現役団員が生出演し、消防団員としての経験談や消防団に対する想いを団員自身の言葉で発信することで、よりリアリティのある情報発信が行えた。SNS 上や番組メッセージで「自分も消防団やっていた」や「活動は大変だけど頑張ってる」などの消防団活動に対する共感や応援の声があった。出演した団員からも職場や友人等から、出演したことや消防団活動について、反響があったと伺った

(1) ラジオ出演の様子



○ 目標達成状況

	指標	単位	目標値	実績値	備考
1	打ち合わせ	回数	12回	12回	消防団と緊密に連携し、消防団充実強化に資する取り組みについて、月1回程度を目安に策定していきたい。
	検討会	回数	2回	4回（うち分科会2回）	袋井市消防団充実強化検討会の開催について、年2回目標値として定める。 検討の状況等に応じて、検討会とは別に、分科会を開催し、必要な検討を行う。
2	システム デモ	回数	2～3回	2回	消防団情報共有システムの導入に伴い、システムデモを実施する。 スマートフォン端末等の操作に不慣れな団員に対するフォローとして、デモを細分化し、なるべく少人数で細かく手解きを行う。
	団員説明会	回数	3回	6回	検討会で提案された内容等を実行するにあたり、消防団の現状から何かしらの変更があった場合、変化に対応できるよう団員を対象とした説明会を実施する。
	システム稼働	月数	7か月	7か月	消防団情報共有システムの導入し、実際に袋井市消防団で使用することで団員の負担軽減を行う。
3	ラジオ局との調整	回数	3回	3回	静岡県を拠点とするラジオ放送局と、出演する番組や放送する時間帯、放送内容について調整する。
	ラジオ番組への出演	回数	2回	10回（うち2回は番組内CM）	実際に消防団員にラジオ番組に出演いただき、実経験を交えて発信いただく。

○ 事業成果

1 消防団動態管理システム導入による消防団事務負担の変化

分団長及び庶務班長が主に普段の活動から団員の管理を行っていた。システムの導入により、団員からは、月次の集計や、活動状況の把握などが簡略化され、事務的な作業が簡単になったと伺っている。

導入前	導入後
・火災出動や放水訓練等の活動や出動時間を、活動ごとに庶務班長がExcelファイルに集計していた（月3時間程度）	・位置情報を基にした自動報告（手動での入力も可能）（一件3分程度） ・Excel集計が不要となった
・庶務班長が月末に取りまとめた活動報告書を作成していた（月3時間程度） ・分団長がデータ又は紙で、ひと月分を確認していた（月2時間程度）	・庶務班長の取りまとめが不要となった ・班長または、分団長どちらかが、アプリ内で、確認で本部へ報告可能となった（1件3分程度）
・災害発生時、指令センターからのメールにて出動要請を受信している ・消防団に追加で出動要請する場合、電話やLINE等で連絡をしていた	・アプリの鳴動により出動要請を受信 ・消防団の追加出動要請をアプリで可能になった

2 消防団ラジオPRの実績

(1) 静岡エフエム放送（通称:K-mix）生放送4回+番組内CM1回

ア 番組名 K-mix RADIO KIDS

イ パーソナリティ DJ Roni（現役静岡市消防団員）

ウ 放送日

1回目 令和4年11月8日 16:45 ~ 16:50

2回目 令和4年11月24日 16:45 ~ 16:50

3回目 令和4年12月6日 16:45 ~ 16:50

番組内CM 令和4年12月14日

4回目 令和5年1月19日 16:45 ~ 16:50

(2) 静岡放送（通称:SBSラジオ）生放送4回+番組内CM1回

ア 番組名 SBSラジオ ふくわうち

イ パーソナリティ レイザーラモンRG（お笑い芸人）

内山 絵里香（SBSアナウンサー）

ウ 放送日

1回目 令和4年12月1日 14:05 ~ 14:15

2回目 令和4年1月12日 14:05 ~ 14:15

3回目 令和5年1月26日 14:05 ~ 14:15

4回目 令和5年2月9日 14:05 ~ 14:15

番組内CM 令和5年2月24日

**その他参考
情報**

※URLの記載などをお願いします。